

国民健康保険 小松市民病院に入院・通院される方へ  
研究協力のお願について

研究課題名：大腿骨近位部骨折患者の骨折型と併存症の有無が  
日常生活自立度および転機に及ぼす影響について

1. 研究の目的について

この研究は、大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折を受傷された患者さんの骨折型（折れ方）および併存症（大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折以外にかかっていた病気）が、日常生活の自立度や退院先にどのように影響するかを明らかにすることを目的としています。

2. 研究の対象について

令和3年4月1日から令和6年3月14日の間に、整形外科で大腿骨頸部骨折または大腿骨転子部骨折と診断された方のうち、人工骨頭挿入術もしくは骨接合術を受けられた方を対象にします。

3. 研究の方法について

年齢や性別などの基本的な情報、骨折についての情報、日常生活の自立度、リハビリテーションの実施状況、退院先などの情報をカルテから収集します。

4. 研究の期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日までとします。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、受傷前の歩行状態、手術待機日数、骨折部位（大腿骨頸部、転子部）、骨折型（安定型、不安定型）、手術アプローチの種類（前方、側方、後方）、手術時間、併存症・既往歴の有無（認知症：HDS-R、MMSE：20点以下、脳卒中：左片麻痺など、腎機能障害：慢性腎臓病など、代謝障害：糖尿病など、循環器障害：慢性心不全など、慢性呼吸器障害：COPDなど、悪性腫瘍、術部以外の筋骨格系障害：腰部脊柱管狭窄症、骨粗鬆症など）、FIM得点（入院時、退院時）、術後合併症（cut outなど）による有害事象の有無、退院時の歩行自立の有無、平均リハビリ提供時間、土日リハビリの有無、入院日数、同居家族の人数、転機（退院先が自宅、施設）、術後1週間以内の血液データ（Alb、BUN、クレアチニン、eGRF、Na、K、CRP、Hb）、術後の推定出血量

利用する情報には、氏名・住所など直接個人を特定される情報を含みません。また、学会発表等を行う際も個人を特定可能な情報を公開しません。

6. この研究へのご協力について

本研究への協力を希望されない場合や研究に対するお問い合わせがある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、本研究にご協力頂けない場合でも、今後の治療に不利益が生じることはありません。

7. 研究に関する問い合わせ先

国民健康保険 小松市民病院 リハビリテーション科

研究代表者：成 進二郎

研究分担者：大泉 真一（加賀市医療センター：リハビリテーションセンター）

小林 了一（加賀市医療センター：リハビリテーションセンター）

大井 貴文（加賀市医療センター：リハビリテーションセンター）

坂本 佳隆（珠洲市総合病院：リハビリテーション科）

桶 拓貴（恵寿総合病院：理学療法課）

橋本 俊平（やわたメディカルセンター：理学療法課）

楫野 良知（加賀市医療センター：整形外科）

住所：石川県小松市向本折町ホ 60（国民健康保険 小松市民病院）

電話：0761-22-7111（国民健康保険 小松市民病院：代表）